

## ファイアル島、青く、国際色豊かな島

について



写真: Publiçor

### ファイアル島、青く、国際色豊かな島

ファイアル (Faial) 島はアソーレス諸島の中部にあります。サン・ジョルジェ (São Jorge) 島、その隣のピコ島 (Ilha do Pico) とともにいわゆる「三角形の海域」を形成しています。これらの島は、約8kmの幅を持つ狭い海の入り江であるファイアル海峡 (Canal do Faial) によって分けられています。

この島の面積は約172km<sup>2</sup>、全長21kmで、最大幅は14kmです。1427年に発見され、1432年に多数のフラマン人たちが入植しました。ファイアルという名前が付いたのは、ここに多くのブナの木 (ファイアス) があったためです。しかし、ここほど膨大な量のさまざまな色合いの青のアジサイが咲く島は他にありません。これらのアジサイは家々を縁取り、野原を分け、道の境界を描き、まさに「ブルー・アイランド」というあだ名がぴったりです。

ファイアルは17世紀以降に大規模な開発が行われました。そしてヨーロッパとアメリカ大陸の間の安全地帯という地理的位置のため、重要な商業港となりました。つい最近になって大陸間の通信ハブとなり、現在では、国際ヨット競技の必須基準地となっています。

最も高い地点は島の中央にあるカベソ・ゴルド (Cabeço Gordo) で、海拔1,043mです。そこは素晴らしい自然の観測地点で、天気の良い日は三角形を成す島全てと、遠くはグラシオーザ (Graciosa) まで見渡せます。

すぐ傍にはカルデイラ (Caldeira) と呼ばれる、直径2km、深さ400mの巨大な火口が横たわっています。青アジサイと豊かな牧草地に囲まれ、中でもヒラヤマズギ、セイヨウネズ、ブナ、シダ、苔が目立ちます。また、その一部はこの島の原生種の重要な標本です。この地域、ファイアル自然公園 (Parque Natural do Faial) は、ポルトガルで最初にEDEN賞 (European Destination of Excellence: 卓越したヨーロッパの旅行先) を受賞した観光地です。

その地理的状況により、オルタ (Horta) ではピコ島、そして時々サン・ジョルジェ島の素晴らしい景色が眺められます。ポンタ・ダ・エスパラマカ (Ponta da Espalamarca) とモンテ・ダ・ギア (Monte da Guia) に挟まれており、そのビューポイントからはモンテ・カルネイロ (Monte Carneiro) と並び、都市と海の広大さを一望する豊かなパノラマを楽しめます。

島の最西端にある素晴らしいカペリニョス火山 (Vulcão dos Capelinhos) は、1957年と1958年に起きたアソーレス諸島における最後の火山噴火の証人です。この噴火で既存の大地に新しい地面が加わりました。この地区に入ると、月面に立っているような気がしてきます。ここでは最新式のプレゼンテーションとマルチメディア技術が完備している理解センターを訪問しましょう。このセンターへの訪問は、灯台の最上階に上り、圧倒的な視覚と感動の体験をして終了です。

南の海岸までの途中にある (Capelo) 道を行くと、ファイアル島で最も美しいパノラマ - ヴァラドウロ (Varadouro) を見ることができます。ここはカステロ・ブランコ (Castelo Branco) 丘のギザギザした黒い岩、ブドウ畑、そして花々が広がってい

る、美しい入り江です。群を抜いて素晴らしいこの休日を過ごすための地区には、火山性玄武岩の裂け目によって形成された池と温泉が数多くあります。

北の海岸では素晴らしい景色が連続して楽しめます。この地区へはオルタから入ります。プライア・ド・アルモキサリフェ (Praia do Almozarife) とペドロ・ミゲル (Pedro Miguel) の街を経由して海岸沿いの道路を進みます。さらに進むと、リベイリーニャ (Ribeirinha)、セドロス (Cedros)、そしてリベイラ・フンダ (Ribeira Funda) を横断して、プライア・ド・ノルテ (Praia do Norte) まで同じ道路を走ります。ここでは、海拔の320mのコスタ・ブラヴァ (Costa Brava) の展望台からファジャン (Fajã) を一望できます。その傍ではファジャン・ダ・プライア (Fajã da Praia) とノルテ・ペケノ (Norte Pequeno) が黒い溶岩と緑の植物の大地の間で対照をなしています。

南の海岸のカステロ・ブランコ (Castelo Branco) とフェテイラ (Feteira) では、ピコ (Pico) 島の息を呑むような景観が楽しめます。オルタの近く、ラジーニャ (Lajinha) とポンタ・フラダ (Ponta Furada) は、その硫黄の穴と珍しい溶岩灰で有名です。

今日、ファイアル島は自然を愛するすべての人々にとって完璧な旅行先です。また、オルタのマリーナは、その最高の特徴の1つで、友好の場所になっています。ここを更にさまざまな国の人々と文化が何年も往来してきました。

絵のような小さな町、オルタは、見どころがいっぱいです。サン・サルヴァドール (Igreja de São Salvador)、ノッサ・セニョーラ・ダ・カルモ (Nossa Senhora do Carmo)、サン・フランシスコ (S. Francisco) (宗教芸術美術館 (Museu de Arte Sacra) とオルタ美術館 (Museu da Horta) を含む) はその一例に過ぎません。

#### 絶対のお勧め

- > 島の象徴の1つ、風車を写真に撮る。
- > フラミンゴ・バレエにあるキンタ・デ・サン・ロウレンソのファイアル植物園を観光。

#### アクティビティ

ファイアル島と海の結びつきは、今なお強固です。オルタはホエールウォッチング、イルカとの水泳、スキューバ・ダイビング、ボートツアーの重要な中心地です。保存状態のよい捕鯨船あるいはレンタルのカヤックで、島と島間の水路を進むことができます。

セーリング、ウィンドサーフィン、ボート漕ぎ、およびサーフィンなど他のウォーター・アクティビティを楽しむための良い条件が、この島のさまざまな場所で見つかります。

陸上では、数十マイルの遊歩道がこの島の山岳部を通過しています。また、海岸地区では徒歩や自転車で忘れられない遠足を楽しめます。さらに、マウンテンバイク、四輪駆動のジープ、カートクロスに最適なサーキットでアドレナリンを放出しましょう。

#### 美食と工芸品

蛸のワイン煮は、ファイアル島でもっとも代表的なメニューです。テーブルには、海の大切さを魚のスープとブイヤベースで感じることができます。パンとコーンケーキと一緒にいただくのが一番のお勧めです。肉料理としては、ソーセージとブラック・プディングが主食や軽食として、ヤムイモを添えて提供されます。

代表的なデザートに、フォファス・ド・ファイアル (Fofas do Faial) があります。フェネル・シードで香りを付け、オーブンで焼いてから、卵黄、牛乳、砂糖、小麦粉、レモンの皮をベースにしたクリームを詰めたダンプリングです。

工芸品としては、マッコウクジラの骨と歯で作った作品が最も多く、さまざまな刺繍、ラタンと麦わらの小物やオブジェ、魚のうろこの花などがあります。これらは興味深いカペロの美術&工芸品学校 (Escola de Artesanato de Campelo) で見ることができます。

#### 祭り

エスピリト・サント祭 (Festa do Espírito Santo)

はファイアル島の伝統でもありますが、この島で最大の宗教的祭りは、年1回のノッサ・セニョーラ・ド・アングスティアス祭 (Festa de Nossa Senhora das Angústias) です。イースター後の第6日曜日には、行進と人気の行事でオルタの通りが埋め尽くされま

す。入植の時代に戻り、フランドル地方から持ちこまれたイメージに結びついた祭りです。  
サン・ジョアン (S. João) は最も人気の高い守護聖人で、6月24日にお祝いされます。この祝典は、テルセイラから来た貴族達がこの島に入植してから始まりました。

8月には、紺碧の海が祭りを盛り上げます。8月1日は、ノッサ・セニョーラ・ド・ギア祭 (Festa de Nossa Senhora da Guia) の日です。ボートの行列がポルト・ピムのビーチからオルタの港まで聖母の像を送り届けます。その興奮は、セマナ・ド・マー (Semana do Mar) (海の週間) まで続きます。最初はヨットマン達に捧げられたこの祭の一週間は、現在、観光客とファイアル島の住民達にも共有されています。多彩なアクティビティのプログラムには、コンサート、工芸品の展示、フードフェア、捕鯨船のレース、およびさまざまなウォーター・スポーツの競技会が含まれており、オルタとポルト・ピム (Porto Pim) の入り江が活気付きます

## 行き方

- リスボンとオルタ空港間で定期便が運行しています。飛行時間は約2時間です。「SATA Air Açores」はサン・ミゲル (1時間) とテルセイラ (40分) から毎日運行しています。  
詳細と時刻表については、次のウェブサイトをご覧ください。 [www.sata.pt](http://www.sata.pt)

- 中部の島々 (ファイアル、ピコ、サン・ジョルジェ、テルセイラ、グラシオーザ) のさまざまな島の間で、夏期 (6月、7月、8月、9月) の間、ボートで定期便が運航されます。  
冬でも島間を結ぶ定期便はありますが、便数は少なくなります。

- すべての島間を結ぶ、乗客と車輛を乗せるフェリーもファイアル島に停泊します。

詳細と時刻表については次のウェブサイトをご覧ください。  
[www.atlanticoline.pt](http://www.atlanticoline.pt) 、 [www.transmacor.pt](http://www.transmacor.pt)

## お役立ち情報

タクシー、車のレンタル会社、数多くの旅行会社が運営するツアーのほか、ファイアル島には公共交通機関のネットワークがあり、島のどこかに出るルートがいくつかあります。ファイアル島では次の公共交通機関のネットワークが運行されています。

ルート：

オルタ (Horta) &gt; フェテイラ (Feteira) &gt; カステロ・ブランコ (Castelo Branco) &gt; カペロ (Capelo) &gt; ノルテ・ペケノ (Norte Pequeno) &gt; プライア・ノルテ (Praia Norte) &gt; ペドロ・ミゲル (Pedro Miguel) &gt; プライア・ド・アルモキサリフェ (Praia do Almoxarife) &gt; ロンバ (Lomba) &gt; オルタ (Horta)。

このルートは、6月から9月まで毎日運行されています。冬の間は、月曜から木曜のみの運航です。

- 詳細については次のウェブサイトをご覧ください。

[www.turismo.cmhorta.pt](http://www.turismo.cmhorta.pt) 、 [www.visitazores.com/Faial](http://www.visitazores.com/Faial)

- オルタ・オン・ホイールにトライ。オルタで最も重要な歴史的発展を知ることができる遺跡ルートを巡ります。観光は次の設備を利用します。

- オルタ・オン・ホイール・キット – 電動自転車 (および付属品) とオルタ・オン・ホイールの歴史ガイド
  - 観光客用ミニバス – 各停留所で、ミニバスのルートだけでなく、関連する歴史に関する情報を提供しています。
- 詳細はこちらをご覧ください。 [www.turismo.cmhorta/Horta sobre rodas](http://www.turismo.cmhorta/Horta_sobre_rodas)